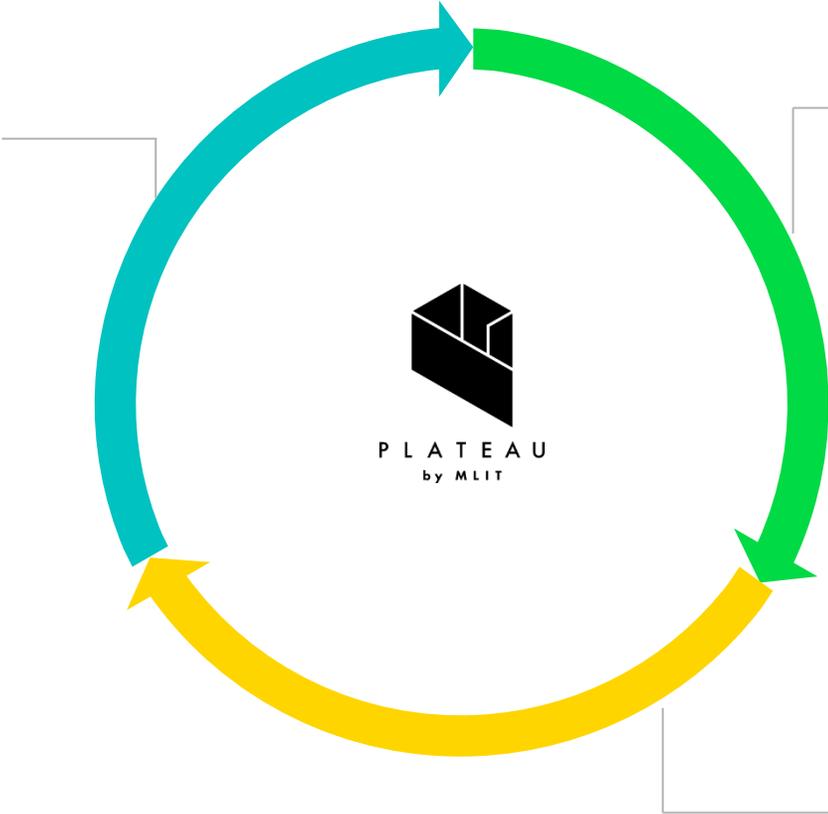


PLATEAUの目指す3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステム

FY2023のProject PLATEAUでは、国、地方自治体、民間企業、研究機関等の多様な主体が相互に連携し、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化が自律的に発展するエコシステムの構築を目指します。

国によるデータ整備高度化・効率化、ユースケースのベスト・プラクティスの開発

国の取組により、民間利用の動向を踏まえたPLATEAU標準仕様の拡張・改良や、自治体による整備を促進するためのデータ整備手法効率化のための技術開発を進める。
また、民間領域の先進技術や新たなアイデアを取り込んだ3D都市モデルのユースケース開発を実施。フィジビリティスタディや有用性検証を行い、社会実装のためのベストプラクティスを創出。



地方自治体による社会実装

国が開発したナレッジを利用して地方自治体が3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を実施し、データ・カバレッジの拡大やユースケースの社会実装を推進。国は地方自治体の取組を支援する。

地域のオープン・イノベーションの創出

地方自治体等がオープンデータとして提供する3D都市モデルのデータや、国が公開するユースケース開発のナレッジが活用され、新たなイノベーションが創出されるための環境を整備する。
開発者がデータを利用しやすい環境を作るため、技術資料の整備、開発者向けツールの開発、コミュニティ構築等を実施。

FY2023Project PLATEAU ユースケース開発のコンセプト



NEXT PLATEAU's Concept

実証から実装へ

2023年度にプロジェクト開始から4年目を迎えるPLATEAUは、これまでの「PLATEAUのポテンシャルを引き出す」ための実証/PoCから、「PLATEAUの価値を社会にもたらす」ための実装へとフェーズを進める必要があります。NEXT PLATEAUでは、PLATEAUの社会実装を実現するユースケースに注力します。

実装パターン①

社会実装型ユースケース開発

社会的課題を解決したり、新たな市場を創出するようなサービスの事業化や販路の確立など、実装可能なレベルのユースケース開発

実装パターン②

先進技術活用型ユースケース開発

研究開発段階やフィジビリティスタディ段階にある要素技術の技術実証や事業化に向けた検証など、プロトタイプレベルのユースケース開発

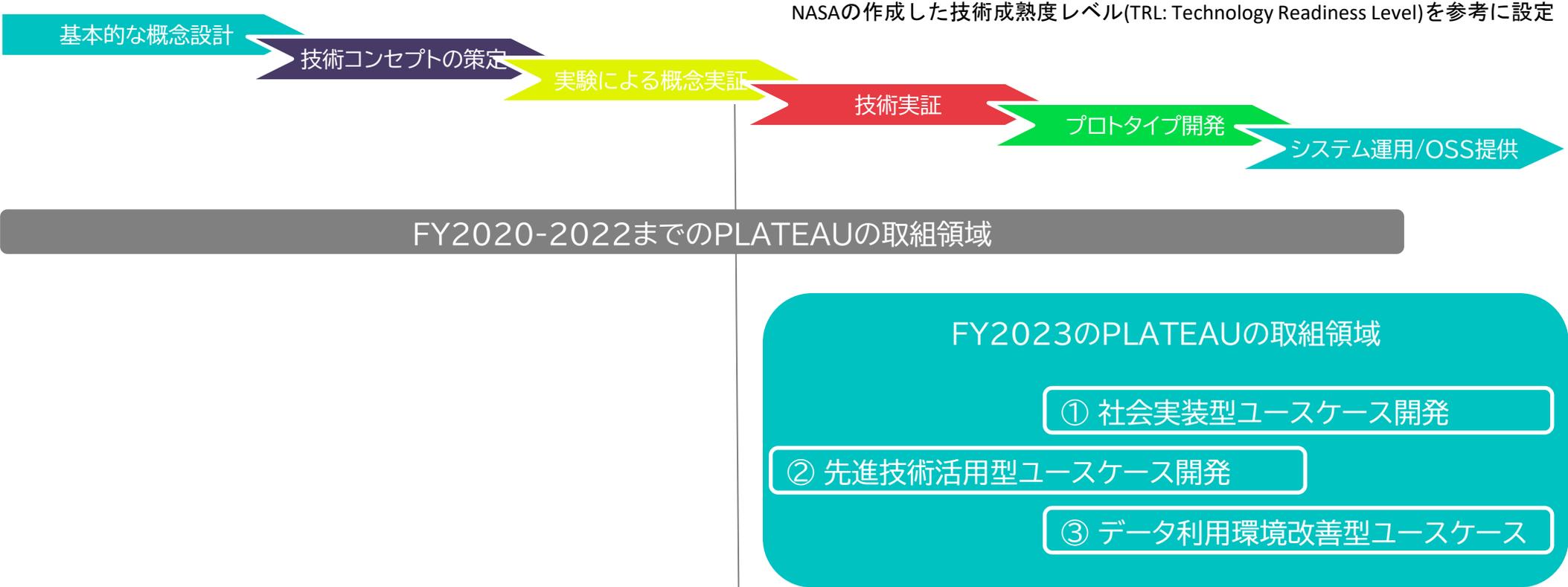
実装パターン③

データ利用環境改善型ユースケース

PLATEAUのデータを利用しやすくするサービスやツールを提供するユースケース開発

FY2023Project PLATEAU ユースケース開発のコンセプト

「実証から実装へ」をコンセプトとするFY2023のProject PLATEAUユースケース開発では、これまでの技術実証やフィジビリティスタディを踏まえたソリューションの実用化に焦点を当てます。
①～③の各ユースケース開発の類型に応じ、技術実証、プロトタイプ開発、システム運用/OSS提供をゴールとしたユースケース開発のプロポーザルを募集します。



FY2023

NEXT PLATEAU

ユースケース開発の4つのポイント



Project PLATEAUでは、FY2023も、官民の様々な領域における課題解決/価値創出をもたらす3D都市モデルのユースケース開発を実施します。

PLATEAUが重視するユースケース開発のポイントをまとめました。来年度のプロポーザルに向けたヒアリングやフリーディスカッションも大歓迎ですので、ぜひお声がけください。



ニーズ

3D都市モデルに係る技術・シーズの視点のみならず、課題・ニーズの視点から、具体的な社会課題の解決や新たなサービス創出に資する取組であること。



イノベーティブ

技術・サービス、事業・ビジネスモデル等の面で、先進性や独創性のある取組であること。



フィジビリティ

アイデア・構想にとどまることなく、技術・サービス開発や社会実装に向けた実現性を有するものであること。



オープン

取組の成果は原則としてオープンなものとし、広く産学官民の各主体により活用できるようにすること。

FY2023Project PLATEAU
3D都市モデルを活用した地域のオープン・イノベーション創出のコンセプト

地域のオープン・イノベーション創出

FY2023のPLATEAUでは、地域課題の解決や新たなサービス創出など、地域のオープン・イノベーション創出を活性化させるための産学官民のエコシステム構築を本格化させます。

このため、地域のスタートアップやシビックテック団体、技術者コミュニティなど多様な主体のPLATEAUへのコミットメントを引き出す施策や、地方自治体や市民を巻き込んだ地域のデジタル・ケイパビリティ強化に注力していきます。

コミュニティ形成の促進

アプリコンテスト、ハッカソン、ピッチイベント、ハンズオン、アクセラレーションプログラムなど、PLATEAUに参画する技術者、市民、企業等のコミュニティ形成を促進する。

デジタル・ケイパビリティの強化

デジタル人材の育成プログラムの開発など、まちづくりにおける3D都市モデルをはじめとするデータ活用やデジタル・トランスフォーメーションを推進するための官民のデジタル・ケイパビリティを強化する。

ムーブメント惹起

Project PLATEAUの情報発信やメディアコンテンツ造成など、多様な領域におけるPLATEAUのムーブメントを惹起する。